

グローバル通信6月号



外務省地方連携推進室



外務省地方連携推進室
運営ホームページ

[グローバル外交ネット](#)
をご覧ください!!



天皇誕生日祝賀レセプションでの地方自治体PR活動 (在フランス大使館)



兵庫県パリ事務所が出展したブースを視察する
パティシエのビエール・エルメ氏(左)と伊原大使



アラン・ジュベ元首相(左)と伊原大使

2022年3月20日、在フランス日本国大使館は大使公邸において、天皇誕生日祝賀レセプションを開催しました。コロナウイルスの影響により令和初開催のレセプションであったことから、天皇皇后両陛下のお写真の掲示や日本文化の華道、画、陶芸ギャラリーを展開しました。会場では、地方自治体が日本茶や日本酒の試飲をはじめ個性溢れるブースを出展し、現地の日本企業や公的機関とともに各地産品の紹介や観光PRを実施した結果、来場者に日本の地方色の豊かさを知ってもらう機会となりました。

[「天皇誕生日祝賀レセプションでの地方自治体PR活動\(在フランス大使館\)」の詳細](#)

サビエルがつかない絆

(山口県山口市とスペイン王国ナバラ州パンプローナ市の交流)



スペイン・パンプローナ市やまぐち公園



応援ポスター前でのアーティストック・スイミング選手

今から約500年前、当時のスペイン・ナバラ王国出身の宣教師のフランシスコ＝サビエルが山口に滞在したことを由来として、サビエルの生誕地であるパンプローナ市と山口市は、1980年に姉妹都市提携を結びました。パンプローナ市内には、「やまぐち公園」など「Yamaguchi」の名の付いた施設がいくつかあり、市民にも親しまれています。山口市は、2016年に東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるスペインのホストタウンの一つに選ばれたことを契機に、スペインから国際交流員を迎えました。さらに、最近では、オンラインでの交流も始まり、両市の姉妹都市交流はますます発展しています。その成果は、公式YouTubeとInstagramでも紹介していますので、ぜひご覧ください。

[「サビエルがつかない絆\(山口県山口市とスペイン王国ナバラ州パンプローナ市の交流\)」の詳細](#)



山口市国際交流課(Instagram)にアクセス可能なQRコード



山口市国際交流課YouTube(公式チャンネル)にアクセス可能なQRコード

BEYOND2020 ホストタウン交流 コロナを乗り越えて(埼玉県幸手市とベナン)



幸手市長から駐日ベナン大使(当時)へ子供たちのメッセージ
寄贈



子供たちからのメッセージビデオを見るベナン選手

幸

手桜まつりを駐日ベナン大使が訪問したことをきっかけに始まった、幸手市とベナンのホストタウン交流。その後、幸手市では空手や音楽を通じた交流、市役所内の展示や広報誌によるベナンの紹介、子供たちから駐日ベナン大使館への応援メッセージ、手紙、千羽鶴の寄贈などの取組を続けてきました。在ベナン日本国大使館も幸手市の魅力発信やベナン関係者との連絡・調整等積極的に協力し、2022年3月にはベナンの五輪出場陸上選手と幸手市で陸上クラブに所属する小学生の間で「夢の架け橋」と呼ばれるビデオメッセージ交換が実現しました。

[「BEYOND2020 ホストタウン交流
コロナを乗り越えて\(埼玉県幸手市とベナン\)」の詳細](#)

(注)次回配信は7月1日の予定です。
グローバル通信には是非ご登録下さい。
登録はメールマガジン「グローバル通信」より「メールアドレスの登録」をクリック!
ご意見やご質問は、gaimu-renkei@mofa.go.jpまでお願いいたします。

在外公館レセプションにおける地方自治体PR
(第27回日本映画祭の開催 在南アフリカ大使館)



映画鑑賞後、法被の試着を楽しむ来場者



鹿児島市PRコーナー

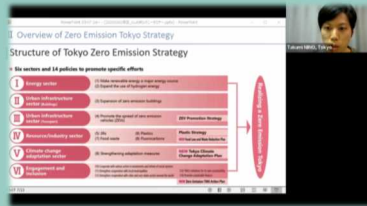
2022年3月4日～6日及び11日～13日の6日間、プレトリアとヨハネスブルグにおいて、国際交流基金との共催による第27回日本映画祭を2年ぶりに開催しました。本映画祭では、計約600名が来場する盛況の中、鹿児島市PRコーナーを設けました。会場には同市の観光パンフレットが設置された他、ラグビーワールドカップや東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプでの写真展示など、日本と南アフリカのつながりを発信しました。来場者からは、各作品やそこから受ける日本の印象についてのポジティブな意見を数多く頂くことができました。

「在外公館レセプションにおける地方自治体PR(第27回日本映画祭の開催 在南アフリカ大使館)」の詳細

令和3年度海外自治体幹部交流協力セミナーを実施しました!



パリセミナー参加者との記念撮影



シドニーセミナー東京都講義の様子

海外自治体幹部交流協力セミナーは、毎年、クリア海外事務所で選抜された海外自治体の幹部職員等を招き、日本の地方自治体との意見交換や視察・体験をしてもらうプログラムです。日本の地方行政施策に対する理解の促進と日本の自治体・海外自治体・クリアの3者間におけるネットワークの構築を主な目的としています。令和3年度は、SDGsやゼロエミッション戦略をテーマに、パリ、シンガポール及びシドニーセミナーをオンライン形式で実施し、好評を得ることができました。

「令和3年度海外自治体幹部交流協力セミナーを実施しました!」の詳細

★地方連携推進室ツイート・ザ・ベスト★
(期間：4月16日～5月17日)

Twitter / @LocalMofa



Local partnership MOFA JAPAN @LocalMofa_5月17日

#ニューヨークで#ジャパンパレード開催 🇺🇸🇯🇵🌟
2022年は岩倉使節団が渡米して150周年 🇺🇸🇯🇵
日本文化の魅力満載なパレードを是非ご覧あれ 🌟
@JapanCons_NY@JapanGov@usembassytokyo@USAmbJapan



50年越しの海を越えた交流!
今年1872年に岩倉使節団が渡米してから150周年となる節目の年。
今回はそれを記念して、5月14日にニューヨークで開催された「ジャパン・パレード2022」の様子を投稿したツイートに最も注目が集まりました。人気マスコットやアニメキャラクターの登場、和太鼓、剣術、伝統的な踊りなどの各種パフォーマンスの披露、日本の食文化も紹介され、マンハッタンの中で、日本文化の魅力が輝きを放ちました。

「150年越しの海を越えた交流!」の詳細

「TASTE OF Miyagi 宮城の味」inシアトル(宮城県)



日系スーパーでの物産展の広告とディスプレイの様子



宮城県をフィーチャーした特別メニュー

米 国西海岸のシアトルでは、東日本大震災後の2018年から続く宮城県事業者支援の一環として、2022年3月に県産食品フェア「TASTE OF Miyagi～宮城の味～」が日系スーパーにて開催され、県内の27事業者が参加しました。約80種類の県産食品の特別販売が行われ、レストラン12店舗では県産日本酒や宮城県特別メニュー提供等が行われました。スーパーでは売り切れになる商品があり、またレストランからは経済効果があったとの声が聞かれました。宮城県産食品のシアトルや米国の他の地域への販路が確立され、同県経済の発展に資するよう、今後もシアトル市と宮城県のさらなる協力が期待されます。

「TASTE OF Miyagi 宮城の味 inシアトル(宮城県)」の詳細